

館山地殻活動観測場における伸縮計（3成分）及び傾斜計（2成分）の観測データは、機器メンテナンスの際に出力の極性が反転して接続されたため、2006年3月30日以降の観測で変動のセンスが逆転して記録されていたことが判明しました。本図は訂正したデータに基づくグラフです。  
 The polarity of signal output from sensors (3 strainmeters and 2 tiltmeters) at Tateyama Crustal Activity Observatory was inverted by a mistake after March 30, 2006, when a maintenance was carried out at the observatory. This figure shows corrected results.

## 館山地殻活動観測場(日平均値)

2006年1月1日 ~ 2009年11月4日

特段の変化は見られない。

